

授業改善推進プラン 1年

令和7年度 小平市立小平第十三小学校

	身に付けさせたい力	手だて
国語科	・自分が伝えたいことを、順序を考えて話し、話の内容を正しく聞き取る。	・自分の考えを話す場面を計画的に設定する。 ◎話型を示し、事柄の順序を考えて話をさせる。 ・話の聞き方のルールを身に付けさせる。
	・事柄の順序や場面の様子に気付き、内容を読み取る。	・文章の基礎的な読み取りの仕方（順序を表す言葉、主語・述語、登場人物の心情等）を学び、読み取った内容を動作化や音読で表現する機会を設ける。
	・ひらがな、カタカナ、漢字を正しく習得し、語彙を増やす。	・プリントやドリル、学習者用端末を活用し、授業、朝学習、家庭学習で毎日、言葉や文字の練習をする。 ・授業時に多くの言葉を出し合うことにより、言葉の正しい知識を身に付けさせる。また、例文作りなどを行い、生きて働く言葉の使い方ができるようにする。
算数科	・基礎的な計算力を定着させる。	・授業で毎日、計算カードやフラッシュカード、学習者用端末、プリントなどの練習に繰り返し取り組みませ、定着を図る。
	・自分の考え方を表現し、説明する。	・問題文に印を付けて読むことで、分かっていることや聞かれていることを整理する。 ◎問題を読み取ったことをブロックで操作したり、図で表現したりしてから立式する。 ・友達と考えを説明し合う活動を増やす。
生活科	・自然や身の回りのものに興味・関心をもつ。	・自然や身の回りに関心をもたせる題材や教材を用意する。観察したことや気付いたことを文章や絵で表現したり、伝えたりさせる。
	・友達と協力しながら、身近な人や自然、文化とかかわって楽しく活動しようとする。	・児童が身近な人や自然、文化と楽しくかかわれる体験的な活動を取り入れる。友達の考えを伝え合う場を多くする。
音楽科	・友達の声や音と合わせて楽しく歌ったり演奏したりすることができる。	・体の動きを伴った活動や互いに聴き合う活動を取り入れ、友達と一緒に演奏する楽しさを味わえるようにする。
	・鍵盤ハーモニカなどの楽器の基本的な奏法を身に付ける。	・正しい奏法や演奏の仕方の工夫による音色の変化に気付かせるために、毎時間、楽器に触れる時間を設ける。
図画工作科	・感じたことや想像したことを楽しく表現する。	・児童のいろいろな発想を肯定し、児童の思いや想像を広げる題材を計画的に取り入れる。
	・身近な材料やはさみなどの道具の使い方に慣れる。	・写真や映像などを見せながら、材料の特徴や道具の正しい使い方を指導する。 ・製作時間を十分に確保する。
体育科	・安全に気を付け、友達と仲良く運動に取り組む。	・友達同士で声を掛け、協力しながら準備・片付けを行う。 ・友達のよさを見付けたり、励まし合ったりして運動に取り組ませる。
	・様々な運動を経験し、身に付ける。	・楽しく運動できるような活動の場の設定や、映像や掲示物などの学習資料を活用し、体の動かし方をイメージしやすいようにする。
特別の教科 道徳	・一人一人が自分の考えをもち、よりよく生きるための心情を育てる。	・場面絵や動作化などを通して、場面設定を分かりやすくし、心情を想像しやすくする。
	・道徳的価値の自覚を深め、現実の生活に生かす。	・授業の導入や自分についての振り返り、終末の話では、学校生活や家庭生活での体験を思い出させることで、道徳的価値と結び付けさせる。

手だての ◎ は令和7年度の学年における指導の重点を示します。
手だての下線部は、改善に向けた具体的な方策を示します。